研究に関する情報公開

社会医療法人柏葉会　札幌柏葉会病院では、札幌柏葉会病院倫理委員会の承認を得て、下記の看護研究を実施します。

１．研究課題名

外来電話相談記録を用いた患者重症度予測モデルの構築

－機械学習モデルによる電話トリアージ支援の可能性－

２．研究目的

当院は、脳神経外科診療を専門とする二次救急医療機関として、24 時間体制で救急患者を受け入れるとともに、一般外来診療を行っています。当院では、救急車で来院する患者さんや緊急性の高い患者さんは救急外来で、予約のある患者さんは一般外来で診療を行っています。外来看護師が患者さんやご家族から電話で症状などの情報を聞き取り、予約外来での受診が適切か、救急外来での受診が必要かを判断する「電話トリアージ」を導入しています。電話トリアージでは、限られた情報から患者さんの重症度や緊急性を予測し、適切な受診につなげることが重要です。本研究では、電話相談後に当院を受診した患者さんを対象に、電話トリアージ時に外来看護師が収集した情報と、その後の診療記録を用いて、患者さんの重症度を予測する機械学習モデルを構築し、その有用性を検討します。本研究の成果は、電話トリアージにおける患者さんの重症度や緊急性の判断を支援し、安全で適切な受診につなげるための基礎資料となることが期待されます。また、看護実践の質の向上を通じて、地域における脳神経外科医療の質の向上に貢献することを目指します。

３．研究の方法

・対象となる患者さん

2025 年 1 月から 2025 年 12 月までの期間に、当院に電話で受診相談を行い、その後、当院を受診した患者さん

・研究に用いる情報の種類

診療録および看護記録から、年齢、性別、電話相談時の症状、電話トリアージ時の看護師の判断、受診後の診療経過、最終対応等の情報を収集し、統計的解析および機械学習による分析を行います。

・研究期間

実施許可日～2029 年 3 月 31 日

４．個人情報の取り扱い

本研究に使用する情報は、氏名など個人を直接特定できる情報を取り除き、符号化した

上で厳重に管理いたします。研究成果を学会や論文、院内発表等で公開する際にも、患者さん個人が特定されることは一切ございません。収集したデータはパスワード設定された電子媒体および施錠可能なロッカーで厳重に保管し、研究終了後には適切に廃棄いたします。

５．本研究に関する費用負担について

本研究では、既存の診療録および看護記録を用いるため、患者さんに新たな費用負担はありません。

６．本研究に際し診療データの提供をご希望されない場合について

2025 年 1 月から 2025 年 12 月までの期間に、当院に電話で受診相談を行い、その後、当院を受診された患者さんの中で、本研究への診療データの使用をご希望されない場合は、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。お申し出いただいた場合は、可能な範囲で当該患者さんの情報を本研究の対象から除外いたします。ただし、お申し出の時点ですでに、研究成果が公表されている場合など、情報を完全に削除できないことがございますので、あらかじめご了承ください。

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問や、情報の利用をご希望されない場合は、以下までご連絡ください。

研究代表者：中　喜代美
お問い合わせ先：社会医療法人　柏葉会　札幌柏葉会病院　外来
共同研究者：天池　衣莉奈
電話番号：011-876-9100（代表）